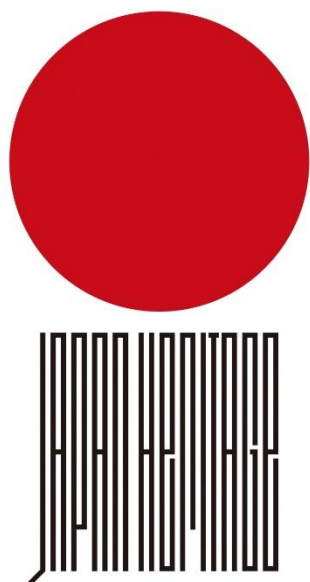


令和6年度 日本遺産連盟総会



日時：令和6年10月26日（土）17：45～

場所：福島県会津若松市 ホテルニューパレス

令和6年度 日本遺産連盟総会 次第

日時：令和6年10月26日（土）17:45～

場所：福島県会津若松市

ホテルニューパレス

1 開会

2 挨拶

3 来賓紹介

4 議題

(1) 決議事項

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 令和5年度事業報告 |
| 第2号議案 | 令和5年度決算報告
会計監査報告 |
| 第3号議案 | 令和6年度収支補正予算（案） |
| 第4号議案 | 令和7年度役員（案）
（次期会長あいさつ）
（次期副会長あいさつ） |
| 第5号議案 | 令和7年度事業計画（案） |
| 第6号議案 | 令和7年度収支予算（案） |

5 報告事項

- (1) 日本遺産推進議員連盟への要望書提出について
- (2) 令和7年度以降の日本遺産サミット開催予定について

令和5年度 事業報告

1 「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の開催

期 日：令和5年11月4日(土)・5日(日)

※3日(金・祝)は前夜祭(宵宮)を開催

会 場：東京たま未来メッセ(メイン会場)

J：COM ホール八王子(オープニング会場)

開催概要：PRブース(94団体出展)、オープニングイベント

日本遺産公開講座、日本遺産分科会、エクスカーションなど

来場者数：41,000人(メイン会場、オープニング会場)

2 総会・情報交換会の開催

(1) 総 会

日 時：令和5年11月4日(土) 17時30分～18時30分

会 場：京王プラザホテル八王子 翔王の間(東京都八王子市旭町)

※総会は日本遺産連盟加盟の104団体のうち、84団体が出席し全議案が可決された。

(このほか、20団体からの委任状の提出があった。)

(2) 情報交換会

日 時：令和5年11月4日(土) 19時00分～21時00分

会 場：京王プラザホテル八王子 翔王の間(東京都八王子市旭町)

3 幹事会の開催

第1回幹事会：令和5年7月11日(火) オンライン開催

第2回幹事会：令和6年2月 5日(月) オンライン開催

4 要望活動など

・令和5年9月7日(木) 日本遺産推進議員連盟に要望書を提出

・令和6年2月9日(金) 第6回日本遺産推進フォーラムへ参加

主催：自由民主党政務調査会 文化立国調査会

5 その他活動

・エコバックの作成・配布

「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の入口にて来場者に配布。

令和5年度 日本遺産連盟 収支決算書

第2号議案

令和5年4月1日～令和6年3月31日

事務局：日本遺産「桑都物語」推進協議会
(八王子市 生涯学習スポーツ部文化財課 併 都市戦略部都市戦略課)

【収入】

(単位:円)

項 目	①予算額	②決算額	②－①	備 考
前年度繰越金	796,764	796,764	0	前年度からの繰越金
負担金	2,080,000	2,080,000	0	104団体×20,000円
その他	0	12	12	受取利子
合 計	2,876,764	2,876,776	12	

【支出】

(単位:円)

項 目	①予算額	②決算額	②－①	備 考
旅費	50,000	24,296	▲ 25,704	要望活動(議連、文化庁等)
総会開催費	1,700,000	1,391,887	▲ 308,113	会場費、装飾等
サミット開催費	796,764	931,297	134,533	日本遺産フェスティバルエコバック クリーニング代
会議費	30,000	25,716	▲ 4,284	送料、消耗品購入等
予備費	300,000	0	▲ 300,000	
合 計	2,876,764	2,373,196	▲ 503,568	

翌年度繰越額

＝

503,580円

(収入決算額－支出決算額)

令和5年度 会計監査報告について

日本遺産連盟規約第7条第3項の規定に基づき、令和5年度決算書並びに関係諸帳簿及び証拠書類について、監査した結果、適正であることを認めます。

令和6年3月31日
日本遺産連盟 監事
関門海峡日本遺産協議会
会長 南 博



令和6年度 収支補正予算(案)

第3号議案

(収入)

(単位:円)

項 目	補正前予算 A	補正額 B	補正後予算 A+B	摘 要
負担金	2,080,000	0	2,080,000	
繰越金	300,000	203,580	503,580	前年度繰越金
合 計	2,380,000	203,580	2,583,580	

(支出)

(単位:円)

項 目	補正前予算 A	補正額 B	補正後予算 A+B	摘 要
旅費	280,000	0	280,000	要望活動、PR活動
総会開催費	1,900,000	▲ 900,000	1,000,000	会場費、装飾費、総会資料印刷費
サミット開催費	0	1,150,000	1,150,000	記念グッズ制作などの集客促進事業
会議費	150,000	▲ 50,000	100,000	会場費、会議資料等
事務費	50,000	3,580	53,580	消耗品費、郵券代
合 計	2,380,000	203,580	2,583,580	

令和7年度役員（案）

会 長 倉敷市日本遺産推進協議会

副会長 日本遺産南国宮崎の古墳景観活用協議会

監 事 極上の会津プロジェクト協議会

令和7年度事業計画（案）

1 「日本遺産フェスティバル in 倉敷」の開催

岡山県倉敷市に日本遺産認定104団体が一堂に会し、日本遺産の魅力を発信するイベントを開催する。

開催場所：倉敷アイビースクエア（メイン会場）他
岡山県倉敷市本町7-2

開催日：令和7年10月25日（土）～26日（日）

内容：文化庁、日本遺産連盟幹事団体との調整ができ次第、加盟団体へ連絡いたします。

2 総会の開催

「日本遺産フェスティバル in 倉敷」と併催予定

3 幹事会の開催

第1回幹事会：6月頃を予定（岡山県倉敷市）

第2回幹事会：令和8年2月頃を予定

（令和8年度日本遺産サミット開催候補地（宮崎県西都市））

4 その他

- ・日本遺産連盟の活動についての協議
- ・文化庁等への要望活動

令和7年度収支予算（案）

（収入）

（単位：円）

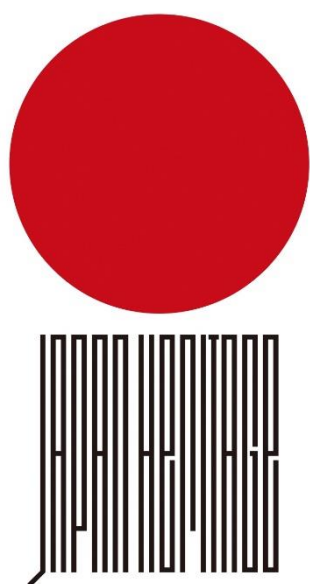
項 目	当初予算	摘 要
負担金	2,080,000	104団体×20,000円 平成27年度認定 18団体 平成28年度認定 19団体 平成29年度認定 17団体 平成30年度認定 13団体 令和元年度認定 16団体 令和2年度認定 21団体 計 104団体
合 計	2,080,000	

（支出）

（単位：円）

項 目	当初予算	摘 要
旅費	150,000	要望、PR活動（文化庁等）
総会開催費	1,500,000	会場借上費、看板、総会資料等
サミット開催費	215,000	記念グッズ制作などの集客促進事業
会議費 （幹事会）	165,000	会場借上費、会議資料等
事務費	50,000	負担金請求通知等
合 計	2,080,000	

要 望 書



令和 6 年 10 月

日本遺産連盟

日本遺産認定自治体からの要望

「日本遺産（Japan Heritage）」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定したものであり、ストーリーを語る上で欠かせない魅力ある有形・無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外へ積極的かつ戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

日本遺産が創設されてから9年が経過し、令和2年度までに認定されたストーリーは104件となりました。私たち認定団体は、文化庁のご支援を受け、それぞれの地域の強みを活かし、新たな付加価値を生み出すとともに、情報発信や人材育成、普及啓発、環境整備などを進め、地域の活性化に取り組んでいます。

しかし、このような取り組みにもかかわらず日本遺産の認知度は依然として高いとはいえません。日本人、インバウンドともに旅行への意識が多様化する中で、日本遺産を地方への誘客を促進するまたとないコンテンツとするためにも、これまで以上に日本遺産という「ブランド」を強化していく取り組みが不可欠です。そのためには、文化・観光関係者のみならず、産・学・官、地域住民が主体となって、継続的に日本遺産の取り組みに参画することで、日本遺産を「地域の宝」として地域の活性化につなげていくことが重要です。

国内外に向け、日本遺産の魅力を発信するとともに、ブランド力を維持・強化するための課題を解決し、今後も、国と認定地域が一体となって取り組みを進めていくためには、国における日本遺産の取り組みの更なる推進・強化が欠かせないことから、国において以下の事項を実現していただくよう要望します。

記

1. 日本遺産の認知度向上及びブランド力強化のため、メディア等を活用した全国的な PR 効果が期待できる施策の実施や、各省庁における関連事業との連携強化、民間事業者への日本遺産の積極的な活用促進の施策を講じること。
2. 2025 年の大阪・関西万博などを見据え、国として国内外観光客に対し、日本遺産の魅力発信などの PR 施策を実施すること。

また、地域を支援する観点からも、「日本遺産の日」や「日本遺産フェスティバル（サミット）」をはじめとする各種イベントにおいて、日本遺産をより積極的に活用し PR することで、日本遺産の認知度向上を図ること。

3. 増加傾向にあるインバウンドに焦点をあて、さらなる訪日外国人の増加と日本遺産の知名度向上につながるよう、関連組織と連携し、海外プロモーションなど誘客に向けた施策を強化・拡大すること。また、インバウンド拡大に向け効果的な先進事例

等の情報共有を行うほか、地域間連携をふまえた全国的なイベント開催等、すべての日本遺産認定地域へ観光客が訪れるような施策を講じること。

4. 日本遺産構成文化財の魅力の向上や将来に向けた活用のため、その保存・修繕や誘客用の施設整備にかかる財政支援を充実すること。また、補助対象事業の拡大や補助制度の運用改善など、日本遺産の持続的な発展のための補助制度の柔軟な見直し・拡充を行うこと。

5. 日本遺産の総括評価・継続審査については、令和6年度から、2周目の総括評価に際して数値による客観的な評価が導入されたところであるが、全体的な評価結果の判断に当たっては、地域ごとの特性や状況を十分に踏まえて行うこと。

また、すべての日本遺産が欠けることなく協力し、価値を高め合い、日本遺産が認定継続され、真に地域の活性化につながるよう、取り組みや状況に応じたフォローアップの推進を図ること。

令和6年10月26日

令和7年度以降の日本遺産サミット開催予定地

開催年度	認定 No.	協議会名	認定ストーリー名	開催地
令和7年度	49	倉敷市日本遺産推進協議会	一輪の綿花から始まる倉敷物語 ～和と洋が織りなす繊維のまち～	倉敷市 (岡山県)
令和8年度	67	日本遺産南国宮崎の 古墳景観活用協議会	古代人のモニュメントー台地に絵 を描く 南国宮崎の古墳景観ー	西都市 (宮崎県)
令和9年度	51	中芸のゆずと森林鉄 道日本遺産協議会	森林鉄道から日本一のゆずロード へーゆずが香り彩る南国土佐・中 芸地域の景観と食文化ー	中芸地域 (高知県)
令和10年度	1	教育遺産世界遺産登 録推進協議会	近世日本の教育遺産群ー学ぶ心・ 礼節の本源ー	水戸市 (茨城県)
令和11年度	57	宇都宮市大谷石文化 推進協議会	地下迷宮の秘密を探る旅ー大谷 石文化が息づくまち宇都宮ー	宇都宮市 (栃木県)